

ニュージーランド留学

2023年ターム3

7月17日～9月22日

中高生向け現地校体験プログラム

中高生 現地校体験プログラム

以下の要綱で**2023**年度の「中高生 現地校体験プログラム」をご案内いたします。

- 対象年齢： 滞在中の年齢が**満13歳**以上であり、**中学2年生～高校2年生**の心身共に健康な男女。
- 英語力： **不問ですが、英検準2級以上相当のレベルがあることが望ましい。**
(自己申告で結構です)
- 受入時期： 2023年のターム3の受け入れです。(Term3: **7月17日～9月22日**)
- コース期間： **4週間のみ** ※上記期間内の4週間滞在。
- コース内容： 受入れ先の現地校にて現地授業に参加。
- 宿泊スタイル： 現地学校の手配するホームステイ。
- 受け入れ学校： 別添校。
- 費用： 別項参照。
- 費用内訳： 入学金、授業料、ホームステイ手配料、ホームステイ代(3食付き)、往復送迎代、現地手配料、
現地サポート料、弊社フォローアップ料
- 当社業務： 受け入れ学校への入学手続き、空港出迎え、滞在中の24時間サポート

※Covid-19(新型コロナウイルス感染症)のワクチン接種について:

ニュージーランドはワクチン規制を撤廃しているので、接種の有無、回数に関係なくご参加いただけます。ただし、日本政府は接種3回未満の方の帰国の際に、72時間以内PCR検査を義務付けています。(2023.1月現在)

PCR検査が必要な方は、ARCで検査予約と同行をお手伝いします。費用は別途NZ\$150.00。検査代の目安はNZ\$175.00。

到着日 (土曜または日曜日)	オークランド空港到着 現地に日本人スタッフが空港で出迎えます。 ・オークランド地域の学生は現地の手配する専用車で送迎します。 ・オークランド以外の学生は学校手配のシャトルまたは国内線で移動。
月曜～金曜	現地学校の授業を体験。 ESOL, 科学、音楽、体育、芸術、数学、地理などの一般授業を体験 (08:30頃～15:00頃)
土日	ホストファミリーと過ごします。
帰国日 (土曜または日曜日)	・オークランド地域の学生は、現地手配の車で空港までお送りしてチェックインのお手伝いまでします。 ・オークランド郊外の学生は、学校手配のシャトルまたは国内線で移動。 オークランド空港で現地スタッフが出迎えてチェックインのお手伝いをします。

ニュージーランドに短期留学（ビザなし）で渡航される方はNZeTA（電子渡航認証）が必要になります。

◆NZeTAに必要なもの◆

- ・有効期限のあるパスポート（滞在期間+3ヶ月以上）
- ・クレジットカード（VisaかMasterCard） ※JCBやAmerican Express (Amex)は不可
- ・メールアドレス（携帯電話のキャリアメール（docomoやau、Softbank）以外がおすすめ）
- ・NZeTAの費用（2023年1月16日現在、申請料は突然変更することがあります）
 - * 申請料：アプリからの申請は\$17、ウェブサイトのオンラインフォームからは\$23
 - * 国際観光税（IVL=International Visitor Conservation and Tourism Levy）：\$35
 - 合計：アプリからの申請の場合は\$52、ウェブサイトからのオンラインフォームからの場合は\$58

NZeTA取得まで、申請から最大72時間かかる可能性がありますので、渡航前に早めに申請を済ませましょう。
(弊社と一緒にいきます！)

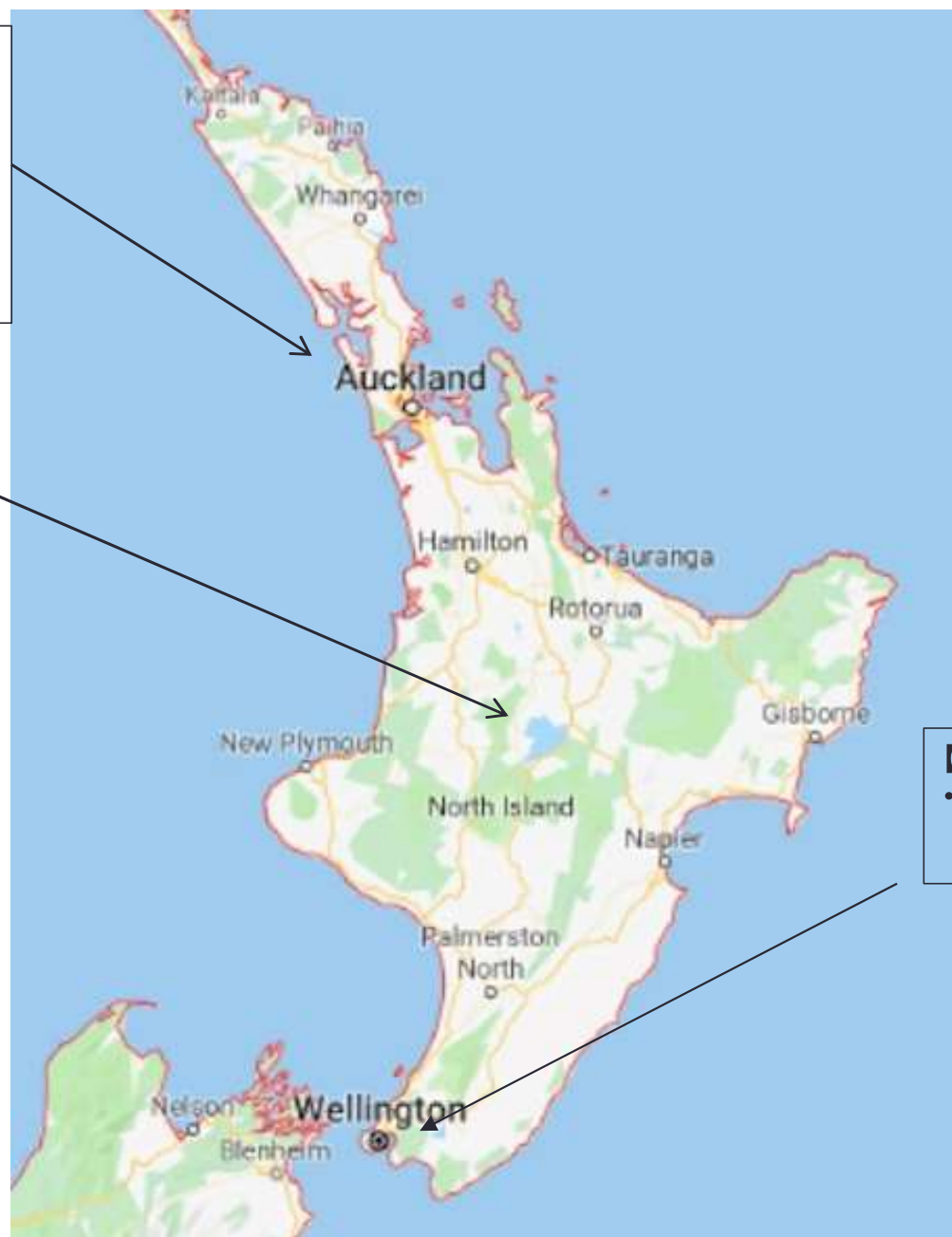
中高生 現地校体験プログラム

【オークランドエリア】

- [Birkenhead College](#) (2/3)
- [Lynfield College](#) (1/3)
- [Onehunga High School](#) (2/3)
- [One Tree Hill College](#) (3/3)

【タウポエリア】

- [Taupo-Nui-Atia College](#) (3/3)



()の数字は(残席/受入人数)。

【ウェリントンエリア】

- [Wellington High School](#) (2/3)

Q: 英語を話せなくても大丈夫でしょうか？

A:「体験」プログラムですが、ある程度英語でコミュニケーションが取れないと学生本人が困ることになります。そのため、自己申告で結構ですので、英検準2級あるいはそれ相当の英語力(リスニング、スピーキング)がある方にお勧めしています。

Q: 英語以外の参加条件はありますか？

A: 次のリストの中から該当する事項がある場合は、申し込み前にお申し出ください。

〈時間管理が苦手、物の管理が苦手によく紛失する、方向音痴、よく怪我をする、文字読解が苦手、不注意傾向。
重要なことが抜けがち、うつ傾向・その他、ADHD、起立性調節障害、学習障害などの診断あるいは疑いのある場合。〉

A: **ペットアレルギー**のある方は、事前にお申し出ください。ニュージーランドでは猫や犬を飼っている家庭は70%を超えられています。特に猫を飼う家が多いため、ホームステイを手配できない場合がございます。また、**食べ物の制限**が多い方も対応が出来ない場合がございますので、予めご相談下さい。

Q: 学校ではどんな授業を受けるのでしょうか？

A: 学校では留学生担当スタッフが授業を組み立ててくれていて、地元生徒と一緒に授業を受けます。Year10までは幅広い教科。
〈英語、数学、科学、美術、体育、音楽、歴史、地理、社会、第2言語、技術など〉

Year11以上は6教科選択となり、生徒によって時間割が異なります。日本と同じ内容のものもあれば、全く初めての内容もあるかもしれません。

ニュージーランドの学校はデジタル化が進んでいて、授業でパソコンを使うのが一般的です。**ノートパソコン、またはタブレットを必ずご持参ください。**

バディは基本的にはつきません。各自がクラスの中でお友達を見つけていただきます。バディを紹介してくれる場合もありますが、バディと全部の授業が重なる場合もあれば、一部のみ同じ授業のときもあります。休み時間はバディと一緒に過ごすのが一般的ですが、生徒自身の判断にゆだねています。(バディがつく学校: Glendowie College)

ESOL授業(留学生向け英語授業)は長期学生向けのため、受講しないケースが多いです。